



## プログラム

【受付】12:30 ~ @教育学部棟正面玄関

【挨拶】13:00 ~  
@教育学部E棟1階大講義室

【シンポジウム】13:10~15:00

登壇者:

新潟県教育委員会義務教育課参事 阿部 勉 様

新潟市教育委員会学校人事課長 池田 浩 様

新潟大学大学院教育学研究科長 宮 蘭 衛

コーディネーター:同副研究科長 小久保 美子

【ラウンドテーブル】15:15 ~16:45  
@教育学部B棟

6つの分科会を開催

\*詳細は2~3面参照

【情報交換会】17:00 ~19:00  
@キャンパス内第2食堂(予定)

にいがた教育フォーラム参加者による情報交換会

※プログラム詳細は下記ホームページに随時掲載いたします。

## 定員

### 300名 (参加費無料)

※ただし懇親会参加費は3000円(当日お預かりします)

資料等の準備の都合上, 申込み方法をご確認の上,  
7月6日(金)までにお申し込みください。

(事前申込みがなくても参加は可能です)

## 申込・お問い合わせ先

新潟大学大学院教育学研究科教育実践開発専攻  
〒950-2181 新潟市西区五十嵐二の町8050  
E-Mail: kyousyokudaigakuin@ed.niigata-u.ac.jp  
TEL:025-262-7227(中島)  
FAX:025-262-7170  
URL: http://www.ed.niigata-u.ac.jp/kyousyoku/

(新潟大学教職大学院でご検索ください)

# 新潟大学教職大学院

# にいがた教育フォーラム

## 2018 in July

平成三十年七月二十八日(土)  
新潟大学五十嵐キャンパス教育学部棟

様々な立場の方と集い、教育や子どもについて語り合い、ともに学び合いましょう。

### 【シンポジウム】

## 教員のキャリア形成に関わる

## 教職大学院の役割と教育委員会との連携

### ―教員育成指標をどう活かす?―



後援:新潟県教育委員会(申請中)  
新潟市教育委員会(申請中)



## 本フォーラムにおける「ラウンドテーブル」

興味・関心に応じて集まり，少人数でテーブルを囲みます。メンバー（話題提供者，参加者，ファシリテーター）は，話題提供者の方の話をきっかけに，教育に関わる実践や悩みを聴き合い語り合います。

話題提供者

ファシリテーター



参加者

互いの実践に学び，自分の実践に生かそうとする活動です。教育関係者はもちろん，教育に興味がある方であれば，どなたでも参加できます。さまざまな立場の方々と知り合うチャンスです。



- ・ 久しぶりに本当に語り合えた気がします。
  - ・ 自由な感じに話すことができ，とてもよかったです。
  - ・ 提案内容の質が高く，課題が焦点化されていたことで，意見交換が深まり，とてもよい学びとなりました。
- （7月のフォーラムのアンケートより）



## 「ラウンドテーブル」の進め方と特徴

### ① 自己紹介

名前、所属、担当、興味関心のあるキーワードや参加目的などについて簡潔にお話してください。

### ② 話題提供

話題提供者から、実践を5～10分程度紹介いただきます。

### ③ 対話と傾聴

話題提供の方のお話し、あるいは、自己紹介をきっかけに、参加者それぞれの実践や悩みを語り合い、それらを傾聴します。

どなたからお話しただいてもかまいません。

### ④ 終わり方

時間になったら、それぞれのグループで終了になります。

### ◆実践の展開を自分の言葉で語り、互いの考えに耳を傾け、対話を通して新たな気づきを得ることを中心に据えます。

- ・ 語り手は、実践の歩みを振り返り、自分が考えていること、大事にしていることを、自分の言葉で語ります。
- ・ 聞き手は、語り手の語りを自分の世界から評価するのではなく、語り手の話を丁寧に聞きながら、語り手の実践に寄り添いながら聞いたり、語ったりします。
- ・ 互いの違いを尊重した上で対応を重ねる対話を通して、各自の課題に対する新たな気づきを得たり、方策をとともに考えたりします。

### ◆ラウンドテーブルの参加者は、学び続ける教師コミュニティの成員として対等ですので、互惠的・双方向的なかわりを大切にします。

- ・ 様々な立場の方が参加しています。それぞれの異なる立場・役割から交流することで、互惠的な関りが生まれます。
- ・ 「指導するーされる」、「評価するーされる」という一方向の関係ではなく、教育についてともに考え、学び続ける双方向的な関係です。



## ラウンドテーブル 分科会の内容

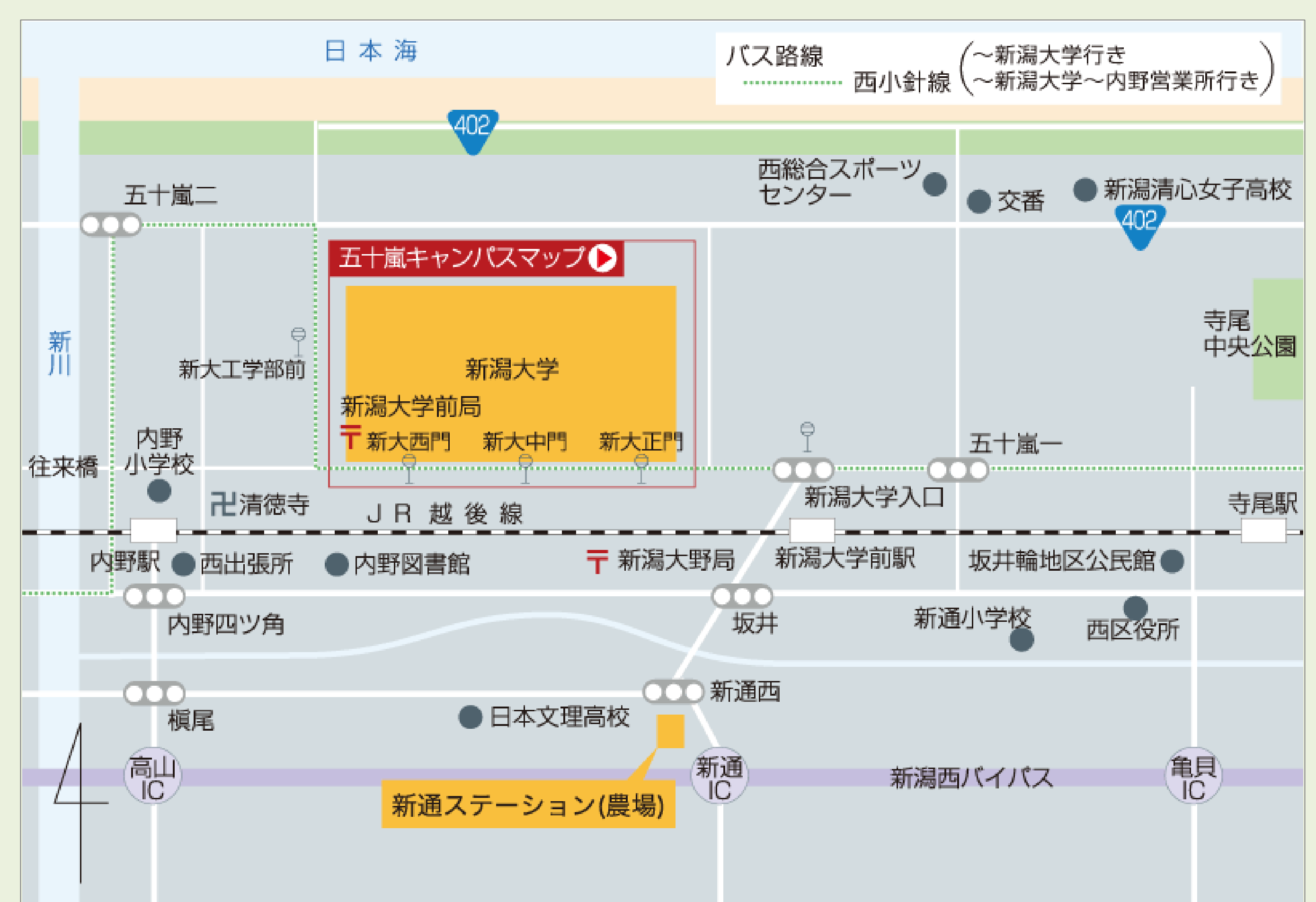
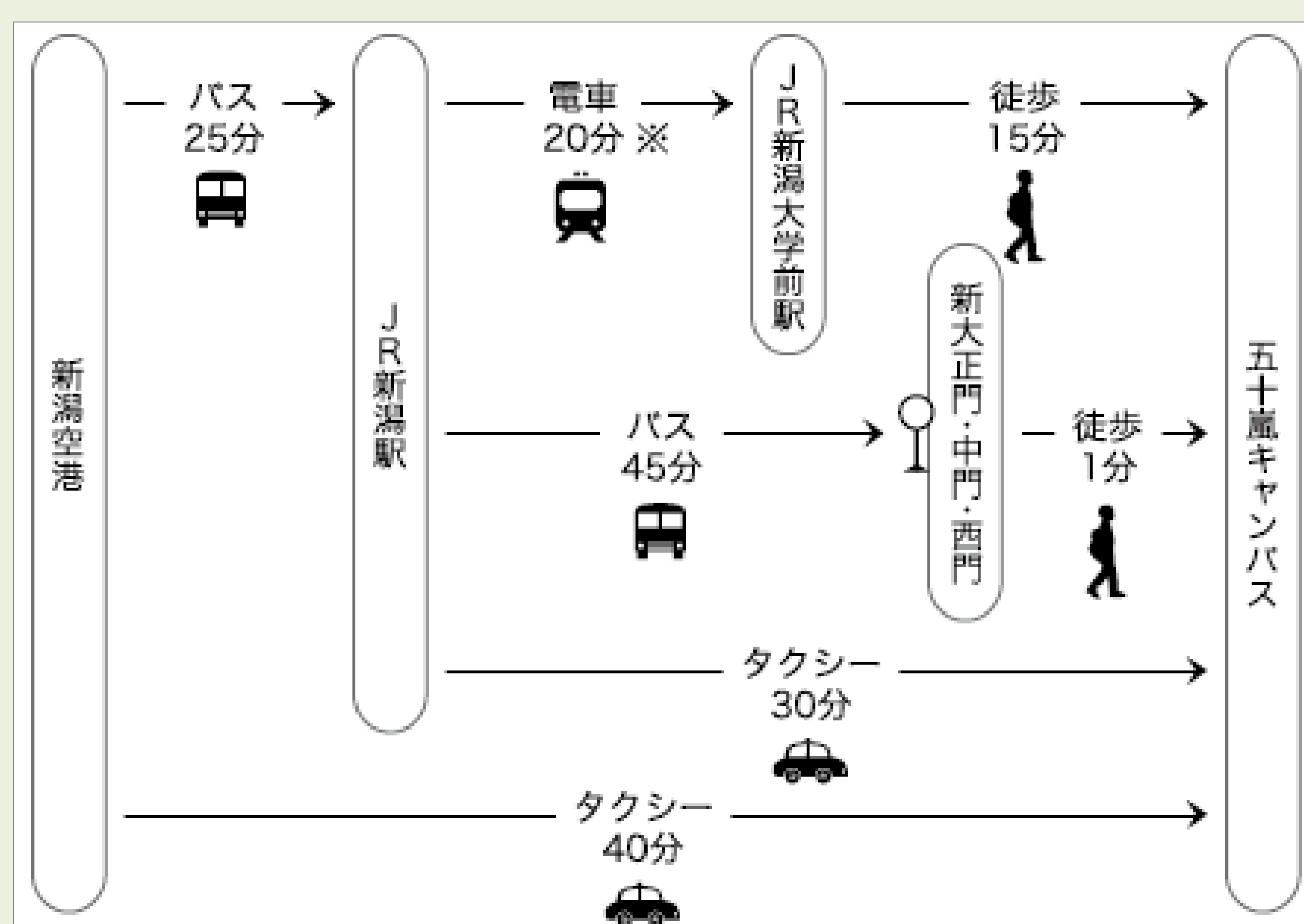
\*少人数でグループを作り、以下のキーワードを手がかりに、互いの実践や悩みについて聴き合い、語り合います。

分科会	キーワード
1 教育課程編成	①社会に開かれた教育課程, ②カリキュラム・マネジメント, ③各教科等横断(各種教育等), ④異校種間連携, ⑤一貫教育(幼保・小・中・高), ⑥その他
2 授業づくり	①教科の本質(見方・考え方), ②資質・能力, ③一人一人の学び, ④教材, 学習課題, ⑤対話, 協働, ⑥問題解決, ⑦その他
3 生徒指導・教育相談	①道徳教育の充実, ②いじめ, 問題行動, 不登校, ③ソーシャルスキル, ④関係機関やカウンセラーとの連携, ⑤キャリア教育, ⑥子どもの発達理解, ⑦その他
4 学年・学級経営	①人間関係づくり(教師と子ども, 子どもと子ども), ②学級・学年活動(話し合い, ルール作り, 自治的活動等), ③社会性の育成, ④開かれた経営, ⑤その他
5 学校経営	①チーム学校(協働性, 同僚性等), ②組織マネジメント, ③研修・研究の充実, ④地域連携・協働, ⑤コミュニティ・スクール, ⑥社会の変化への対応, ⑦その他
6 特別支援教育	①インクルーシブ教育システムの構築, ②学習参加のための工夫, ③自己理解と就労支援, ④多職種・他機関連携, ⑤早期発見・早期対応, ⑥その他

## ラウンドテーブル 話題提供をしてくださる方を募集します!

- 話題提供の方の話をきっかけに、小グループの参加者みなさんと、実践や悩みを聴き合います。  
ご自分の実践や悩みについて話してみませんか。
- 話題提供をせず、メンバーとしてのみの参加も大歓迎です。
- 話題提供の1人あたりの時間は、5~10分程度です。話題提供者の方のお話しも含めて、ラウンドテーブル全体の時間は90分程度です。
- 話題提供をしてくださる方は、上記分科会から1つ選択し、関連するキーワードを1つ以上選択して、申込フォームに実践や提案したい内容の要約を書いて提出してください。
- 締め切りは**平成30年7月6日(金)**です。
- A4版1枚程度の資料を10部**作成し、必ず**当日**持参してください。資料は、1部を受付に提出してください。他はラウンドテーブル時に、ご自分のテーブルの参加者に配付してください。

## 会場のご案内 \*駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。





## 申込み方法

- ◆ 新潟大学教職大学院 にいがた教育フォーラムは、どなたでも参加できます。参加ご希望の方は、下記の①～③のいずれかの方法で、お申し込みください。
- ◆ ラウンドテーブル参加希望の方は、参加形態を必ずご記入ください。
- ◆ ご記入いただきました個人情報は、本申込以外には、使用いたしません。
- ◆ **申込締め切りは、平成30年7月6日（金）です。**  
ただし、話題提供者としての参加でなければ、当日参加を受付けます。

### ① E-mail: [kyousyokudaigakuin@ed.niigata-u.ac.jp](mailto:kyousyokudaigakuin@ed.niigata-u.ac.jp)

メールの件名を「にいがた教育フォーラム申込」とし、③と同様の情報を記入して送付ください。

### ② 右QRコードから申込フォームにアクセス・入力

③と同様の情報の記入が必要となります。



### ③ FAX: 025-262-7170

A 4版のまま下記に記入してください。

\*印の箇所は記入必須事項です。選択する場合は、いずれかの□にチェックを入れてください。

*ご所属		*職名	
*ご芳名（ふりがな）		*連絡先 TEL: _____ FAX: _____	
<b>*参加希望</b> □にレを入れてください。			
<input type="checkbox"/> シンポジウムのみ		<input type="checkbox"/> シンポジウムとラウンドテーブル	
<b>◆ラウンドテーブルに参加される方</b>			
参加希望分科会番号	話題提供の内容の要約：①にチェックした方のみお書きください。		
*キーワードの記入は不要です。			
<b>参加形態</b> □にレを入れてください。			
<input type="checkbox"/> ①話題提供をする			
<input type="checkbox"/> ②メンバーとして			
<b>*懇親会</b> □にレを入れてください。		<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加 受付時に3000円をお預かりします。 当日参加も可能です。	